

建設環境委員会行政視察報告書（令和5年11月1日）

日 時：令和5年11月1日（水）13時30分～15時30分
視 察 先：町田市
視察事項：生ごみを資源化するバイオガス化施設と熱回収施設における 温室効果ガス削減の取組について
内 容 ・質問事項 1. バイオガス化施設による生ごみの処理量 ・年間の処理量について ・可燃ごみ削減効果と発電量について 2. バイオエネルギーセンターで発電した電力の活用について ・鶴見川クリーンセンター以外の検討 ・停電時に使用する場合の施設稼働可能時間 3. バイオエネルギーセンターが稼働してから1年半が経つが、今後の課題について 4. 施設建設にあたり、周辺地区連絡会など地域住民からの要望、反対意見や苦情の内容について 5. 火災で発生したごみの持込み件数とその処理量(年間)
視察を終えて 東大和市では地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定中であり、廃棄物の発生・排出抑制等循環型社会の形成について取り組んでいく必要がある。その様な中で関東圏唯一の生ごみのバイオガス化とごみ焼却施設を一体的に整備した町田市バイオエネルギーセンターを視察した。バイオガス化施設についてはごみ削減効果があり、なおかつバイオガスから得られる発電量は1,200世帯以上の量であり、その効果は非常に大きなものであった。町田市バイオエネルギーセンターはごみの有効利用で、持続可能な社会を目指す上で非常に有効な活用例であった。また、周辺地区連絡会からの要望で、周辺に温水プールや公園整備等も実施している施設であった。東大和市でも温室効果ガスの排出量削減を行うための施策を実施していく上で施設の効果や地域住民との対話事例など参考にすべき所は多いと感じた。

※視察の資料等については、議会事務局に保管してあります。